

南富良野拠点に活動

カーリング男子 2チーム全国へ

【南富良野】町内と旭川市などの小中高生でつくる男子カーリングチーム「KMT Minamifurano」と、南富良野高生らで構成する男子チーム「南富良野選抜」がそれぞれ別の全国大会出場を決めた。2チームとも町内落合のカーリング場を拠点に活動し、「上位目指して1試合ずつ戦いたい」と意気込む。

(相武大輝)



「KMT」は21歳未満で争う日本ジュニアカーリング選手権大会(3月・長野県軽井沢町)に、南富良野選抜は全国高校選手権(2月・青森市)にそれぞれ北海道代表として出場する。

「KMT」はスキップの山口昂大選手(旭川東高1年)、伊井雄斗選手(富良野高1年)、阿部悠希選手(南富良野中2年)、阿部悠希選手(南富良野高3年)の4人で2016年に別の名前で結成。19年に今の名称になり、昨季から山口開世選手(旭川・愛宕東小5年)が加わった。

ジュニアの大会は大学生チームとも競うため、当初は勝てなかったが、年々技術が向上。昨季の全道大会

全国大会出場を決めた(前列左から)宗形蹴斗、山口開世、阿部悠希、(後列左から)伊井雄斗、山口昂大、阿部悠希の6選手

日本ジュニア、高校選手権で「上位目指す」

予選では4位に入った。今季は地方予選が新型コロナウイルスの影響で中止になったが、昨季の実績で全道大会出場が初めて決まった。

昨年12月に空知管内妹背牛町で開催された全道大会では、北見や札幌などの8チーム総当たりの予選リーグを5勝2敗で通過。準決勝で敗れたが、3位決定戦に勝ち、全国切符を得た。阿部悠希選手は「コッコツと積み上げてきたものが結果に表れた」と喜ぶ。

南富良野選抜は「KMT」の高校生3人とカーリング経験者の宗形蹴斗選手(南富良野高3年)の4人で昨年11月に結成。今月上旬に南富良野町内で行われた道新杯全道高校選手権で4チーム総当たりのリーグ戦で、全勝優勝した。

阿部悠希選手が4月から強豪の札幌国際大に進学予定のため2チームとも今のメンバーで戦うのは今季で最後だ。両チームを指導する旭川永嶺高教諭の山口修明コーチ(47)は「集大成のシーズン。どちらの大会も優勝を狙うつもりで頑張っている」と期待する。山口昂大選手は「1試合でも多く悠希と戦いたい」と話す。

令和5年(2023年)1月25日

北海道新聞朝刊